

平成 28 年度 事業活動報告書

【法人活動状況】

理事会

年 4 回開催（第 1 回：平成 28 年 5 月 26 日、第 2 回：10 月 18 日、第 3 回：平成 29 年 1 月 25 日
第 4 回：3 月 22 日）

- 第 1 回 ①平成 27 年度事業報告について ②平成 27 年度決算報告について
③評議員候補者の選任について
- 第 2 回 ①理事任期満了につき改選について ②監事任期満了につき改選について
③理事長任期満了につき改選について
④理事長職務代理者の選任及び職務代理者の順位について
- 第 3 回 ①岡山市指導監査結果報告について ②平成 28 年度第一次補正予算について
③定款変更について ④その他について
- 第 4 回 ①定款変更の報告について ②評議員選任・解任委員会運営細則について
③評議員選任・解任委員の選任について ④評議員の推薦について
⑤平成 28 年度第二次補正予算について
⑥平成 29 年度事業計画及び平成 29 年度予算について
⑦経理規定変更について

監事監査会

年 1 回開催（平成 28 年 5 月 18 日）

【施設利用状況】

平成 28 年度入所率及び平均介護度（前年度比）

入所率	平成 27 年度		平成 28 年度	
	入所	99.7%	入所	99.4%
短期入所	82.7%	短期入所	58.5%	
合計	98.5%	合計	96.3%	
平均要介護度	平成 28 年 3 月末時点		平成 29 年 3 月末時点	
	4.22		4.06	

平成 27 年度空床利用 空床数 557 日：利用数 23 日：利用率 4.13%

平成 28 年度空床利用 空床数 952 日：利用数 191 日：利用率 20.06%

※（年度中退居者 21 名）

平成 28 年度月別稼働率及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均計
入所	98.1%	95.6%	93.7%	94.8%	95.9%	96.5%	96.1%	98.2%	97.4%	93.5%	96.1%	94.1%	95.8
短期	79.2%	74.2%	61.7%	58.9%	64.5%	60.8%	58.9%	63.3%	67.7%	47.6%	35.7%	28.2%	58.4%
計	96.7%	94.0%	91.4%	92.1%	93.6%	93.9%	93.3%	95.6%	95.2%	90.1%	91.3%	89.3%	93.1%
空床利用	13/41	2/70	4/98	43/124	48/112	63/115	11/72	0/27	1/41	6/106	0/55	0/91	20.06%
平均介護度	4.2	4.2	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1

平均介護度内訳

入所（平成 29 年 3 月 31 日現在）

	男性	女性	計
人数	9名（7名）	40名（43名）	49名（50名）
要介護度 1	0	0	0
要介護度 2	0	0	0
要介護度 3	1	12（9）	13（9）
要介護度 4	3（2）	17（19）	20（21）
要介護度 5	5（5）	11（15）	16（20）

短期入所（平成 28 年度利用状況）

短期入所	男性	女性	計
人数	42名（43名）	107名（141名）	149名（184名）
要介護度 1	4	11（4）	15（4）
要介護度 2	10（5）	30（26）	40（31）
要介護度 3	6（9）	40（54）	46（63）
要介護度 4	16（17）	10（17）	26（34）
要介護度 5	6（12）	16（40）	22（52）

平成 28 年度入退所状況内訳

入所者内訳

退所者内訳

入所前の居所		退所後の居所	
家庭	1名（2名）	協力医療機関	2名（1名）
認知症対応型共同生活介護	2名（5名）	その他の医療機関	5名（3名）
介護老人保健施設	6名（1名）	死亡（当該施設・在宅）	5名（4名）
特定施設入所者生活介護	2名（2名）	死亡（施設・医療機関）	8名（4名）

その他	1名(1名)	介護老人福祉施設	1名(4名)
計	20名(11名)	計	21名(12名)

【施設活動状況】

行事活動（別紙1参照）

総行事回数 84回、

全体行事：敬老会・けしご祭り、バイキング、幼稚園交流会、小学校交流会、ボランティアによる行事、けしご会（餅つき）等

各ユニット行事：誕生日会、外出企画、花見、そうめん流し等

毎月行事：習字クラブ、生花クラブ、園芸クラブ、体操クラブ、図書クラブを実施

その他施設外行事として、プロレス観戦のご招待による観戦、中川町夏祭りへの参加もさせていただいた。

クラブ活動： 生花、図書館ツアー、体操、習字、園芸

クラブ活動内容に変更ないが、以前参加出来ていたクラブ活動への参加が難しくなったケースもあり、また、利用者の状態や入れ替わりにより全体的に参加率が低下した。クラブ活動への参加が難しくなった利用者は体調などを考慮し多目的ホールでの実施から居住フロアでの実施にすることで参加を促した。新入所の利用者には見学などしていただきご興味があるクラブ活動への参加をいただいた。

ボランティア受入（別紙2参照）

ボランティア受入延数 324人（新規登録者数 8名、継続登録者数 19人）

平成27年度受入延数は前年273名より51名増加しているが、継続登録者数は31名から19名と継続を頂いている。学生ボランティアコーディネーターの協力の下、新規学生ボランティアの継続によるカレンダーボランティアと今年度は入居者ご家族の所属されている団体によるトーンチャイム音楽会、消防署員による音楽会の実演を頂いた。日常の趣味・生活支援の為のボランティア活動はメイクアップ、眼鏡の調整、オカリナ演奏、園芸、生け花等、地域のボランティアの協力を継続し得ることができている。

職員の体制（平成29年3月31日現在）

施設長	事務員	員生活相談	介護職員	看護職員	指導員機能訓練	栄養士	調理員	専門員介護支援	医師
1	2	1	30	4	1	1	外部委託	1	嘱託

※上記兼務を含む

介護福祉士比率 介護職員 20/30人（パート職員含む）、加算内容等変更なし

採用活動

合同就職説明会

社会福祉協議会主催で実施の合同就職説明に参加、岡山県介護事業所運営向上ネットワーク主催で実施の合同説明会に参加。ハローワーク西大寺主催の合同説明会に参加。子育て中ママさん向け就職説明会、シニア世代就職説明会等への参加。

個別就職説明会の実施。求人誌、新聞折り込みへの掲載を行った。

一般求人に対する問い合わせは昨年より少なくなっており、反面、人材紹介や、紹介予定派遣での応募が多数となっている。

事故報告（別紙 3 参照）

平成 28 年度中に岡山市への報告事故が 7 件発生した。うち骨折 5 件、切傷/擦過傷 1 件、死亡 1 件。

苦情報告（別紙 4 参照）

平成 28 年度中に苦情が 3 件発生した。

うち入所：利用者処遇 1 件、短期入所：利用者処遇 1 件、利用者対応 1 件。

入居者様ご家族満足度調査（別紙 5 参照）

平成 28 年度上期に意見箱用活用の案内により、意見を募った。意見箱の活用なし。

平成 28 年度下期に平成 28 年度中に入居者様のご家族に対する満足度調査（アンケートによる）を 1 回実施。

研修事業

平成 28 年度中は社会福祉士及び介護福祉士法第 14 条における喀痰吸引等研修事業 2 号研修を 1 期開講した。4 名を修了とした。

固定資産等の増減における特記事項

建物

5/31 竹中工務店 3 F 東系統空調更新工事 12,960,000 円

3/31 上記工事に伴う固定資産相当分除却 2,127,384 円

器具及び備品

4/30 ナリコマエンタープライズ 温冷配膳車 2 台 6,066,656 円

3/31 上記備品購入に伴う配膳車処分 35,000 円

1/31 福山医療器 ロボヘルパー S A S U K E 927,000 円

積立資産取り崩し

6/21 竹中工務店 3 F 東系統空調更新工事に対する支払 12,960,000 円

3/31 修繕積立金 6,000,000 円

施設整備、修繕等における特記事項

ベッド 27 台修繕 818,500 円 2 F 西系統空調修理 693,360 円 貯湯槽補給水用減圧弁取替工

事 180,360 円 3 F 西系統食堂空調取替工事 182,520 円 給水加圧ポンプ修理 200,880 円
スプリンクラー工事 494,640 円 2・3階タイル取替工事 1,080,000 円 オイルギアポンプ取
替工事 407,916 円 非常用発電機取替修理 432,000 円

処遇・委員会活動

- ① 個別ニーズに対応した暮らしの実現の為の取り組みとして、ユニット職員と多職種参加のユニット会議を定例化し、入所様の個性を尊重した暮らしの在り方、それぞれの行事の在り方を検討した。

誕生日会は、望まれる形での個別対応とし、勤務体制を見直し担当職員と利用者のコミュニケーションの機会、時間を調整し、企画や外出の機会の増加に努めた。

- ② 勉強会の実施

各委員会が講師となり、毎月の勉強会を行い意義目的の浸透に努めた。

施設内研修の充実を図り、各委員会での取り組みと課題についての研修を行い施設全体としての意識付けを高めるよう努めた。

- ③ 給食委員会

月に1回の季節ものおやつ提供、バイキング形式での食事を年に1回(3月)実施。反省内容として各階の入居者に合わせたバイキングができなかったためバイキングらしさに欠けたことが挙げられる。今回のバイキングでは握り寿司の実演をしたこと、メニューの内容、味付けに関しては大変好評であった。また、ユニット行事、誕生日会等にユニットスタッフと管理栄養士にて企画を行うことで企画の幅が広がった。

施設内研修では、食中毒等衛生管理について、食品の保管方法、食中毒予防を学んだ。

平成29年度の活動目標は、以前より継続目標となっているユニット炊飯に向けて職員の意識の統一を図り、ユニットケアとしてのユニット炊飯の意義の定着、内容の検討をすすめる。また、一方的な食事提供にならないよう多職種と連携し早期対応に努めるとともに、適宜食事形態の見直しを行い喫食量の維持・向上を図る。季節に応じて、バイキング、おやつや食事作りの企画を計画して楽しい時間を過ごす事ができるようにする。

- ④ 感染症委員会

インフルエンザ・感染性胃腸炎の流行もなく、持ち込まない・持ち出さないこと、手洗いうがい等各自意識して行うことが出来た。また、嘔吐時吐物処理グッズを使用することが定着しており、有効に活用できている。発熱・嘔吐時すぐに居室対応を行い他の入居者への拡大が防げた。

日頃より手指消毒を行うこと、発熱時の居室対応も各自マスク、手洗い等を行うことで予防に努めることができた。しかしながら感染性胃腸炎の流行時期に新人職員を中心に説明不足なこともあり、感染員として意識して働きかけができなかったこともあった。日頃から吐物処理の対応について確認し適切な行動がとれるようにデモンストレーションの適宜実施とマニュアルを確認しタ職員にも適切な指導が出来るようにしておく必要がある。

これらを踏まえ平成29年度は、手洗い・うがい・マスク着用を呼びかけ各自感染予防の意識向上、感染症の発生予防すること、感染性胃腸炎の流行前に吐物処理の勉強会を開き、スタッフ全員が適切に対応できることを目標とする。

活動内容

- ・吐物処理グッズの確認見直し（1回/月 ユニット会議の日）
- ・マニュアルの見直し（2回/年・適宜）
- ・手指消毒、ミューズとハンドクリーンの設置（インフルエンザ、感染性胃腸炎等流行時期）
- ・面会者用ポスターの掲示
- ・マスクの設置（流行時期）
- ・勉強会8（2回/年）
- ・物品の見直し（2回/年）
- ・外部からの伝達（インフルエンザ注意報・発令等）

⑤ 褥瘡予防・改善委員会

平成29年度の活動目標は、日頃から皮膚状態の観察を意識して行い、早期発見・早期対応に努める。また褥瘡に対する原因を分析し、多職種と連携して予防・改善を行うことを挙げていたが、褥瘡経過表の活用が不十分になっており、写真を適宜更新し、褥瘡の危険がある利用者の対応するため管理方法の改善が必要であった。また物品の定期的な確認が出来ていなかったため実際の物品と表の整合性がとれておらず物品表の作り直しが必要であった。

平成29年度は褥瘡の発生と悪化を防ぐために早期発見、早期対応を徹底すること。そのために褥瘡に対する危機意識の統一を図り多職種連携して対応すること。褥瘡物品の管理を見直し改善することを目標とする。

⑥ 事故対策委員会

平成27年度に比べ、事故件数としては、46件、増加している。全体を通して、転倒転落のみならず、内出血、表皮剥離の事故に関しても、同じ方が繰り返すケースが非常に多かったように思われる。入院後の状態変化や本人さんの傾向など事故が起きる予測があり対策をとっても予防できていないケースも目立った。ひやりはっと件数としては27年度から16件増えている。

平成29年度においては、改めていちから情報共有、意識統一、処遇、対策の徹底を再度意識していきたいと考える。また、28年度ひやりはっと報告の件数が増えている事に関しては、前年度に比べ、事故を未然に防ごうという意識が高まっているとも考えられる。さらに意識を高めていけるよう努めたい。

⑦ 身体拘束廃止・虐待防止委員会

今年度は、身体拘束の事例は無かった。ユニット会議内においても、身体拘束になるかならないかの議論も度々出ており、意識の高まりを感じられた。しかし、一方で、身体拘束、虐待について、どのように考えたらよいか分からない。どこからどこまでがそうなのかが分からないなどの声も聞かれる為、基本的な部分から、構築していく必要性を感じている。平成29年度においては身体拘束の知識、土台部分の再構築を図っていきたい。

⑧ 研修・教育委員会

介護技術研究会・排泄研究会の運用については、職員の退職、入職に伴い、職員間の連携が図りづらかった。研究会メンバーによる勉強会・外部研修への参加の時間が中々取れなかった。

施設内研修については、各委員会に内容を任せて実施した。期中予定通りに開催できない時期が発生してしまった。

施設外研修については、発表の有無・場等、内容を検討することでより施設内で掘り下げ効果的にすることが出来た。参加メンバーの計画に基づき、実施できた。

平成29年度活動目標

介護技術研究会・排泄研究会の運用については、勉強会の実施・外部研修への参加を実行する。研究会から発案できるよう機会をする。

施設内研修については、各委員会よりの内容を充実させるよう事前に予定を組む。

施設外研修については、発表の有無・場所等今後も検討していく。参加計画を基に、参加し、知識習得した上で施設での実施を試みる。

⑨ 医療ケア委員会

介護職による喀痰吸引等の研修については、引き続き各分野からの協力があり、スムーズな運営が出来た。新人、中途採用者の説明指導は円滑に行えたが、前年に引き続き資格保持者への振り返りの指導が出来なかったため、頻回なデモンストレーションの実行が必要である。

現場での活動については、アクシデント報告書の提出内容は個人の不注意によるものであったが、徹底した指導が出来ていないため、繰り返してしまっていた。

前年は看護師間の共通認識が薄かったが、今年度は看護師間の共通認識が図れた、個別処遇の確認などもう一歩先に進んだ指導が必要である。

平成29年度活動目標

介護職員による喀痰吸引等の研修については、引き続き各分野からの協力のもと、実施する。資格保持者への振り返りの指導を充実させることと、登録施設としての自覚、役割の強化。

現場での活動については、アクシデント報告書に沿って、適時指導していく。また、ユニット内での話し合いを徹底し、個別処遇を充実させていく。看護師間の認識を高め、共通の実施・説明・指導が出来るようにすることと、頻回なデモンストレーションを実施する。

⑩ 防災・災害対策委員会

平成28年度は前年度に引き続き災害時事業継続計画（BCP）の整備にあたり、マニュアルの整備を行った。立地条件、災害情報の入手方法、災害時の連絡先及び通信手段の確認方法、避難を開始する時期・判定基準、避難場所、関係機関との連携体制についての整備を行った。また、役職者間でマニュアルと岡山市のハザードマップをもとに机上訓練を実施し、施設内での防災意識の向上に努めた。災害時の備蓄として超小型・軽量簡易トイレ処理セットを備蓄した。

平成29年度の活動目標は事業継続計画の整備と災害備蓄を使用した防災訓練を実施とする。

平成28年度消防訓練実施状況

年度内2回実施

平成28年11月8日

総合訓練（日中想定）

1階厨房内より出火

参加利用者49名 参加職員22名

消防署員・消防団員

平成29年3月31日

総合訓練（夜間想定）

1Fウッドデッキより出火

参加利用者1名 参加職員7名

監査結果報告書

- 1 監査年月日 平成29年5月18日(木) 午後14時00分より
- 2 開催場所 けしごの里 多目的ホール
- 3 出席者氏名 監事 福田好子、宗政稔子
理事長 太田朝子 施設長 竹内 浩 事務局 渡邊一樹
- 4 監査項目 平成28年度、理事の業務進行状況及び事業報告書、財産目録、施設会計貸借対照表、収支計算書、証憑書類等

5 監事の発言内容

会計処理等の取扱いについては、概ね良好であるが、高額案件の処理を経理規程に基づき適正に処理していただきたい。平成28年度の決算では、介護事業収入が稼働率の低下に伴い多額の減収となっている。入所者の入院による稼働率の低下は仕方のないことであるが、短期入所の稼働率の低下が続くと今後の運営が立ち行かなくなる恐れがある。選んでいただける施設となるよう、また施設側が情報発信等を外部機関に適宜行うことや、地域の方との関わり方などを工夫し、ユニットケア施設として入居者の方に寄り添ってこられたけしごの里の強み、特色を発信し、知っていただくことが必要である。けしごの里で暮らす利用者様が安心して生活できるよう、職員が安心して働けるよう改善に努めていただきたい。

6 監査結果

理事の業務遂行上に問題はなく、また会計処理に関しても会計諸帳簿、証憑書類等監査の結果正確であった。


7 監事の記名捺印年月日

平成29年 5月18日

理事長 太田 朝子 様

平成29年5月18日に行いました社会福祉法人 正和会監査の結果を上記のとおり、ご報告申し上げます。

社会福祉法人 正和会

監事 福田好子 

監事 宗政稔子 

役員名簿

1129.4.1現在 社会福祉法人 正和会

役職名	氏名	生年月日	年齢	職 業	郵便番号	住 所	就任年月日	改選年月日	観察の有無	東陽法人名	出欠
理事長	太田朝子	昭和13年11月27日	78	理事長	700-0933	岡山市北区奥田1丁目5-30-505	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	有	無	
理事	高取和弘	昭和39年8月21日	52	医師	703-8261	岡山市中区海吉2033-15	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	有	無	
〃	森 靖喜	昭和16年7月21日	75	学校法人理事長	703-8274	岡山市中区門田木町2-2-53	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	有	
〃	田野 幸	昭和19年7月12日	72	弁護士	703-8266	岡山市中区赤津286-6	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	有	
〃	石原 清敏	昭和11年1月1日	81	元岡山市社会福祉協議会副会長	701-8176	岡山市東区中川町280	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	無	
〃	竹内 浩	昭和60年1月22日	32	施設長	703-8214	岡山市東区狭293-8	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	無	
監事	福田好子	昭和36年3月23日	56	税理士	700-0956	岡山市南区当新田24-12	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	有	
〃	宗政鈴子	昭和18年10月20日	73	民生委員	701-8176	岡山市東区中川町433-12	平成28年10月23日	平成29年1月1日以後最初に招集される定時評議員会の終結の時まで	無	無	

理事長報酬及び費用弁償規程

（目 的）

第1条 この規定は、社会福祉法人 正和会（以下「法人」という。）の理事長（以下「役員」という。）の報酬及び費用弁償に関する事項を定める。

（報 酬）

第2条 法人の役員に対して報酬を支給する。

2 役員報酬額は、月額 38 万円とする。

（支 給 日）

第3条 役員報酬は、毎月月末日（支給日が銀行休日日の場合は、前営業日に支払う。）

（費用弁償）

第4条 役員が、理事会またはその他に会議に出席するため、あるいは法人の業務のために旅行したときは、その費用を弁償する。

2 費用弁償額は、役員等の居住地から計算し、職員の旅行規程に準じて、交通費の実費額とする。

3 日当及び宿泊料は、次のとおりとする。

日当 1日につき 20,000 円

宿泊料 1泊につき 10,000 円

（改 正）

第5条 この規程については、理事会の議決を要する。

付 則

この規定は、平成 23 年 5 月 1 日から施行する。

出張旅費規程

社会福祉法人 正和会

出張旅費規程

第 1 条 この規程は、職員の出張旅費に関して定めたものである。

第 2 条 社会福祉法人 正和会（以下、「法人」という。）に所属する者の出張に際し、日当・交通費・宿泊料等の出張旅費については、次のように定める。

1. 海外・県外出張の場合

	日 当	交通費	宿泊料
理事長	20,000円	JRグリーン	10,000円
施設長	10,000円	JR指定	8,000円
各職種責任者	4,000円	JR指定	6,000円
その他	3,000円	JR指定	6,000円

2. 県内出張の場合

	日 当	交通費
理事長	5,000円	往復車馬賃
施設長	3,000円	往復車馬賃
その他	1,000円	往復車馬賃

- 但し
- 県内出張の場合、日帰りを原則とし、宿泊料は支給しない。
 - 施設車使用の場合は、交通費を支給しない。
 - 自家用車使用の場合、交通費は1kmにつき20円で計算する。
 - 研修開始時刻が午前12時以降の場合又は研修時間が4.5時間未満の場合の日当は、日額の半額を支給する。

第 3 条 役員・役員に準じる者及び参考人等が役員会等へ参加する場合には、交通費として一律5,000円を支給する。

第 4 条 出張許可は、出張者の申請に基づき、施設見学、研修会等への出張による効果等を総合的に評価して理事長が決定する。ただし、原則として県外・海外への出張は、勤続3年以上のものとする。

- (2) 午前9時以前に出発して午後5時30分以降に施設へ戻るものを1日とし日当を支給する。出張に係る時間が実質8時間未満の場合は管理者が関係職員と協議の上、支給額を決定する。
- (3) 県外・海外の日当にはタクシー代等の諸雑費を含むものとする。
- (4) 1ヵ所に5日以上滞在する場合の日当は日額50%減額とする。
- (5) 航空機の利用が必要であると理事長が認めたときは、その実費を支給する。
- (6) 出張期間が10日以上の場合の海外出張については、出張の前日、帰国の翌日に各1日の特別休暇を与える。

- 第 5 条 出張の回数は、県内、県外、海外を問わず、年間2回を限度とする。ただし、管理者が事業運営及び行政指導上必要と認める場合はこの限りでない。
- 第 6 条 出張者は業務の目的を考慮して最も効果的、かつ経済的な順路及び交通手段を利用して旅行しなければならない。
- 第 7 条 出張旅費は原則として出張終了後7日以内に精算しなければならない。
(2) 交通費、宿泊料その他出張中の経費を請求する場合は、必ず領収書の原本を提出しなければならない。
(3) 領収書を紛失した場合や業務上必要ないと法人が判断した経費は原則支給しない。
- 第 8 条 出張者は、出張後3日以内に出張報告書を提出しなければならない。ただし、軽易な事項については文書にかえて口頭で復命することができる。

附 則

1. 平成19年3月1日 施行
2. 平成24年4月1日 一部改定
3. 平成25年1月1日 一部改定
4. この規程を改廃する場合には、職員代表の意見を聴いて行う。

平成29年度施設運営計画 事業計画

1. 法人理念

一人ひとりに、幸せな笑顔を咲かせたいのです。

2. 施設理念

① 愛情あふれるサービスの探求と実践

・入居者本位サービス

プライバシーの守られる環境の中で、個人の尊厳と自律を重視し、敬意を込めた愛情あふれるケアを実践していきます。

けしごの里では、尊厳を守り、敬意を添えて関わるという風土づくりに施設をあげて取り組んでいきます。

・生活自立支援の徹底

長寿は健康で過ごす事が一番であると考えます。寝たきりにより、廃用症候群に落ち込むと身体的、精神的な苦しみは著しく増加します。毎日、一定以上の運動、離床を実施する事で日常生活は自立度を損なうことなく元気で過ごす事が出来ます。

けしごの里では、趣味・気晴らしを目的としたレクリエーションや、生活自立・生きがいを達成する為のリハビリテーションを重要視しています。

これらの活性化ケアに取り組むことで終末期まで元気に過ごす事を施設の目標としています。

② 秩序ある職場の創造

全職員が社会人・組織人として、マナーを守って気持ちよく働ける職場づくりをしていきます。

③ 専門職を極める

施設の研究プログラムにのっとり、担当職員により各種研修をすすめていきます。毎年度個別研修計画、内外研修を基本としたキャリアアップ形成をしていきます。

3. 基本方針

- ・年齢を重ねられ重度化された入居者様に対して、個別に今何を望んでおられ、何をお手伝いすれば生きがいを感じていただけるかを深く検証をし、実践に繋げていく。
- ・暮らしの継続、あきらめない暮らし、笑顔で暮らしていただける毎日の実践。
- ・職員の知識、技術両面のスキルアップ。
- ・職員自らも入居したい施設になろう。

4. 運営目標

① 顔の見える関係性の構築。

- ・面会時等に懇談会等を行う。普段から看取りまで入居者本人、入居者家族、担当職

員の思いが共有できる場の構築を図る。

② リスクマネジメントの強化

・介護事故に対する知識の強化と個人の状態を把握し適切なサポート、ケアの統一を図る。記録の一元化を図る。

・大規模災害に備えた事業継続計画の策定、防災訓練の実施と設備備品の見直し

③ 人材確保と育成

・介護職員の採用、指導教育体制強化のために、介護職員より2名、選任職員を置く。

・職員個別の年間計画書の作成と人事考課の評価基準の統合、キャリアアップ制度の構築、介護処遇改善加算Ⅰ（平成29年度より新設）取得の体制とする。

・研修報告、取り組み検討会の構築

5. 処遇目標

① 排泄ケアの見直しと改善の取り組み

引き続き利用者個別の排泄パターンの把握と尿量に応じた適切なパッドの選択を行うことを実施し夜間おしめ交換回数の減少等を目指す。利用者の睡眠を優先する。

② 入居者それぞれの生活リズムに合わせたケアを行う。

・入居者の思いを引き出し、入居者のことを知る。

・個人に合った「暮らしぶり」をつくる・

・居室、フロアの実環境整備をし、過ごしやすい空間づくりをする。

・24時間シートの見直し、生活リズム、意向・好み、自分で出来ることを記録の項目に追加し、個別ケアの見直しを行う。

・企画の充実を図る。外出企画、食事会、季節に応じた企画を行う。

・余暇の充実を図る。希望者には集団体操を余暇活動として行っていく。

6. 研修・教育の目標

・教育担当者を2名選任し、教育方法の一元化を図る。

・新人、中堅職員の判断力の向上を図る。処遇の見直しによるケアと指導の統一を図る。

・排泄ケア、おしめゼロ取り組み実施施設への施設見学、おしめメーカーと共同しケアの向上、効率化の促進を図る。

・各委員会による施設内研修を毎月行い。取り組みや課題について施設全体としての意識付け、改善を図る。

7. 事業収支計画

① 事業収入について

ア) 介護報酬収入

定員 : 入所 50床 短期入所 4床

平均介護度：4.06（前年度 4.28） 目標稼働率：全体平均 95.7%

（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	20,309	21,000	20,309	21,000	21,000	20,309	21,000	20,309	21,000	21,000	19,000	21,000
短入	1,270	1,320	1,270	1,320	1,320	1,270	1,320	1,270	1,320	1,320	1,211	1,320
収入	21,579	22,320	21,579	22,320	22,320	21,579	22,320	21,579	22,320	22,320	20,211	22,320
累計	262,767	見込額：262,767千円（内訳本体事業収入 248,767千円、介護処遇改善加算 14,000千円）										

イ) 全体収入収支差額（前年度比）

（千円）

項目	H28年度	※H28年度	前年度比	備考
平均介護度	4.06	4.06		
稼働率	95%	93%		
介護事業収入	262,767	259,347	3,420,	
（うち本体事業）	251,867	248,770	3,097	
（うち介護職員処遇改善交付金）	10,900	10,577	323	
その他の収入	2,912	2,941	△29	
略痰等研修事業	900	600	300	対象職員数 6人
事業収入計	277,048	272,170	4,878	

※H28年度の数値はH28年2月末までの実績に3月予測値を合計した数値

② 事業支出について

ア) 人件費（必要経費 142,663,000円）

理事長	1人	
嘱託医	1人（うち非常勤1人）	
施設長	1人	
看護師	4人（うち非常勤1人）	
機能訓練指導員	1人（看護師兼務1人）	
介護職員	30人（うち非常勤12人）	うち介護福祉士 19人
ケアマネ	1人（生活相談員兼務1人）	
生活相談員	1人	
管理栄養士	1人	

事務職員	2人	
管理宿直	2人（うち非常勤2人）	
調理員	外部委託	ナリコマエンタープライズ

（平成29年4月1日予定）

- ・各種諸手当の見直し、期末手当額の見直し
- ・職員体制：看護師、介護職員の適数配置人員の確保
- ・退職共済掛金：掛金職員数35人 4,472,000円を予定

イ) 事務費：特記事項

修繕費：壁面サイン修理工事（159万円）

上記工事費にあてるため修繕積立預金より159万円取崩しを行う。

福利厚生費：喀痰研修6名、永年勤続表彰5年1名・10年2名（100万円）

旅費交通費、会議費：評議員会設置に伴う運営費用（10万円）

支払利息支出：福祉医療機構（2,606,100円）、広島銀行（416,900円）

その他の経費：業者の見直し、消耗品の見直し等を実施し、コスト削減を行う。

ウ) 事業費：特記事項

空調機器更新に伴うデマンド値、水道光熱費の削減効果の確認を行う。

エ) 固定資産：特記事項

建物：入居者フロアの空調機器の未着手部分の緊急更新工事（3,990万円）

器具及び備品：リクライニング式特殊浴槽更新（10,368千円）

上記更新工事のため広島銀行より5,000万円の設備資金借入を行う。

8. 地域との連携に向けた取り組み

- ・施設の立地条件をふまえた風水害対策、南海トラフ地震を想定した災害対応への訓練の実施と事業継続計画の整備を行うとともに、周辺地域の町内会との協力関係の構築と協定書の策定を行う。
- ・地域で催されているイベントへの積極的な参加を図る。

9. 行事予定

平成29年度行事予定（詳細は別紙参照）

4月	お花見（全体合同）	10月	消防訓練
5月	消防訓練	11月	1日創立記念日
6月	防災訓練	12月	けしご会・もちつき（家族参加）
7月	流しそうめん（各ユニット）	1月	鏡開き
8月	流しそうめん（各ユニット）	2月	節分祭り
9月	敬老会・けしご祭り（家族・地域参加）	3月	ひな祭り

その他ユニット毎の誕生会、個人対応の誕生会や買い物外出等にも、随時企画実行する。

平成29年度クラブ活動予定

習字	第1木曜	体操	第4月曜	図書	月1回
生花	第3水曜	園芸	月1～2回		

10. 委員会・会議等の構成

H29年度委員会・会議等

委員会名称	担当者
事故対策予防委員会	介護・看護・生活相談員・ケアマネ
身体拘束・虐待防止委員会	介護・看護・生活相談員・ケアマネ
給食・食生活向上委員会	管理栄養士・介護・看護
褥瘡対策予防委員会	介護・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士
感染対策委員会	介護・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士
医療ケア委員会	施設長・介護・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士
記録委員会	介護
防災・災害対策委員会	施設長・介護・看護・管理栄養士、事務
安全衛生委員会	施設長・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士
研修委員会	施設長・介護・看護
全体行事実行委員会	介護・看護・事務
親睦委員会	介護・ケアマネ
介護技術研究会	介護
排泄ケア研究会	介護・看護
判定会議	施設長・介護・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士
代表者会議	施設長・介護・看護
ユニットリーダー会議	ユニットリーダー
ユニット会議	介護・看護・生活相談員・ケアマネ・管理栄養士